



福智の夜に 笑顔集まる

昭和 和51年から、夏を代表するイベントの「つと」として「夜市」「納涼祭」「福智町 Love カナダ Festa」と、名前を変えながら町を盛り上げてきた「I LOVE FUKUCHI フェスタ」。

会場となった新町通り商店街は、既存の店舗のほかに露店が軒を連ね、威勢のいい店主の声と香ばしい匂いが漂い、活気と笑顔があふれる歩行者天国となった。特設ステージでは、金田保育園や方城和太鼓による演奏、ミキーズファンクのダンスが披露され、色とりどりのスポットライトと大勢の視線を浴びながら、それぞれが熱い夜を演出した。

会場のボルテージを最高潮に引き上げたのは、やはり2大イベントである「大縄でQ」と「浴衣deナイト」。今年の「浴衣deナイト」は子どもたちが出場する18歳以下の部と、18歳以上の部では今年初めて企業対抗のチーム戦形式で行われた。浴衣の着こなしはもちろん、しぐさや審査員からの質問への受け答え方なども審査され、グループ全体を評価。1位から3位までと、全体からベストドレッサー賞が1人選ばれ、それぞれ賞状と賞金が贈られた。

時代が変わっても、「夜市」から続く町に息づく笑顔は変わらない。約2千の笑顔が集まった今年の祭典も、大盛況の内に幕を閉じた。



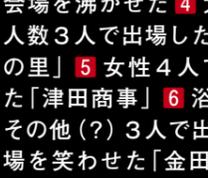
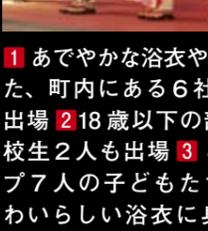
○クイズに答えながら大縄の跳躍回数を競うメインイベント「大縄でQ」。5人で5分間大縄を飛びながら、1人1問ずつクイズに答える体力・知力を競うゲーム。今年7チームが参加し、同点の末じゃんけんでの優勝決定となった。この大会を制したのは、金田ジュニアクラブ。2位はファイブインツースターヒル。3位は赤池JrベアーズB。4位には同点で金田ちびバド「は組」と「ね組」。以下赤池JrベアーズA、キンチョール♥ファイヤーと続いた。どのチームも一致団結し、今年の「大縄でQ」も手に汗握る戦いとなった。



1 跳躍数190回クイズ4問正解で優勝した金田ジュニアクラブ 2 思わず抱き合って喜ぶメンバー 3 195回で跳躍数1位のファイブインツースターヒル 4 クイズ全問正解の赤池JrベアーズB 5 金田ちびバド「は組」 6 金田ちびバド「ね組」 7 赤池JrベアーズA 8 キンチョール♥ファイヤー



浴衣de ナイト



まちづくり総合政策課で福智町の観光PRと発展のために職務に励んでいます。まさかの優勝で驚きましたが、評価されて嬉しかったです。賞金は経費を除き、平成筑豊鉄道の豪雨被害支援金にします。木戸美希さん(写真中央)

職場では看護師長として、「笑顔を絶やさず」をモットーとし患者さんに接しています。惜しくも2位でしたが、みなさんが応援してくださったおかげです。昨年引き続きの出場、とても楽しかったです。藤村幸美さん(写真中央)

障がい者支援施設の第二みろく園で働いています。利用者の立場に立って支援することを心がけています。同率の3位で、最後はじゃんけんで勝ち取った結果でしたが、仲間との夏の思い出になりました。石田康真さん(右2番目)

ベストドレッサー賞
くぬぎの里 植村直美さん
デイサービスの介護員として働いています。利用者一人ひとりに合わせた支援介護を行えるよう、日々努力しています。こんな素敵な賞を頂けるのは夢にも思わず、最高の夜になりました。くぬぎの愉快な仲間たちと応援してくださったみなさん、本当にありがとうございました。

大縄 でQ

Event Information
今回のイベントは、11月25日に予定している「バルーンフェスタ」です。地上30mから福智町を見下ろしてみませんか？

Interview
今年のフェスタでは、子どもたちに楽しい夏の思い出と、「アイラブ福智」の気持ちを持ってもらうことが目的でした。大人はもちろん、特に子どもが参加しやすいイベントにしようと、日本の夏の文化を楽しんでもらえるよう、みんなで練り上げました。私が青年部として今年が最後のフェスタということもあり、会場全体がたくさん笑顔や歓声が嬉しかったです。このイベントがこれからも夏の伝統として続き、子どもたちが大人になって主催者として関わってくれることを願っています。



商工会青年部
吉田 広志 部長